

競技上の注意事項

1 競技規則と競技方法

- (1) 本大会は令和7年度「全国障害者スポーツ大会競技規則」及び本大会「申合せ事項」および「競技上の注意事項」を適用する。
- (2) 競技方法は、泳力別に完泳を目指す『チャレンジクラス』と、男女別及び障害区分別、各組タイムレースの『はばたきクラス』に分けて行う。競技は「実施種目一覧表」の上から順番に行い、レースは女子から男子、障害区分番号順とする。
- (3) 出場できる種目は「チャレンジクラス」2種目、「はばたきクラス」2種目までとする。
- (4) プール施設内温度は31℃、水温31℃程度とする。

2 スタートについて

- (1) スタートは1回のみとし、やり直しは行わない。『はばたきクラス』では、フォルススタートは失格とする。他選手がフォルススタートを行った場合でも、出発合図員の号砲にてスタートすること。
- (2) 全種目水中スタートで、おこなう。全種目水中スタート理由は、公益財団法人日本水泳連盟が、事故防止のために策定した、「プール水深とスタート台の高さに関するガイドライン」(2005年)において、当センターのプールの水深は、その策定を満たさないため、参加される皆様の安全の確保するために、全種目水中スタートとさせていただきます。ご理解の程、宜しくお願い致します。
- (3) 競技に関する違反があった場合は、アドバイスシートにて助言をする。競技中の中断(立つことなど)への回数制限はしませんが、選手のみならず、家族・指導者の方も完泳のための努力・指導をお願いします。

※スタートの方法

審判長の短い笛の合図で準備し、自コース内に移動する。長い笛の合図で自コース、もしくは近い方のプールサイドから入水し、自コース内のスターティングバーを握り、「Take your marks : テイク ユア マークス」の合図を待つ。ピストルの合図と共にスタートをする。

3 競技順

競技は、女子・男子の順に大会プログラムの順序で行う。
※申込状況により、変更する場合もある。

4 招集

- (1) 招集は、指定された招集場所(体育館内)において、競技開始予定時間の15分前より、開始し、5分前に終了する。招集時間に遅れた者は棄権とみなすので、各自プログラムで自分の招集開始時間を確認すること。
- (2) 競技の進行に注意すること。(競技時間が30分以上早くなった場合、案内をする。)

5 プール内への入場

本大会では、事前に申請した伴泳もしくは入水し声掛け等の介助者、入退水時の介助者、視覚障害のある合図棒による合図の為の介助者と団体代表者1名とする。

(受付へ申出て入場許可をもらい、プールサイドに入場する際は見える場所にバンドを装着すること。) ※付き添い者は、プールサイドに入場する事は、出来ない。



黄色は介助者用



青色は団体代表者用

※1 団体につき1枚のみ

※事前に申請がある方

6 競技時間

競技時間につきましては、申込締切日後に調整等をする為、大会1週間前にホームページに掲載いたします。

進行により変更する場合がありますので、各自進行状況に注意すること。

(進行が30分以上早くなった場合は、審判長の判断で時間を調整する。)

7 棄権・訂正について

棄権・プログラムの訂正は事前に申し出ること。参加種目の変更や追加は一切認めない。

8 速報の掲示

速報は、体育館入口付近の壁に掲示する。

9 メダル授与、記録証について

- (1) 表彰式は、行わない。メダルの授与についてはメダル授与場所にて贈呈する。
- (2) 「チャレンジクラス」は競技規則に従って、完泳出来た者にメダルを授与する。
- (3) 「はばたきクラス」は各組の障害区分毎1~3位にメダルを授与する。
- (4) 「チャレンジクラス」記録証は体育館にて参加者に授与する。
- (5) 「はばたきクラス」記録証は体育館にて完泳者全員に授与する。

10 ウォーミングアップについて

実施時間については、大会1週間前にホームページ掲載する。(障害別にコースを振り分けて行う) に行う予定。ただし、競技進行上の都合により変更する場合があります。

11 監督者会議について

監督者会議は実施しないため、「開催要項」並びに本大会「申合せ事項」および「競技上の注意事項」をよく読んだ上で来館し、館内掲示板も確認すること。

12 その他

- (1) 手話通訳者は、適宜配置する。
- (2) 選手の休憩・待機場所は、体育館とする。
- (3) 競技の観覧は2階プールギャラリーを利用する事。
- (4) プールサイドは【土足厳禁】とし、関係者以外の方の出入りは禁止する。
- (5) 更衣は、プールの更衣室を利用すること。ロッカー使用時は必ず100円硬貨により、施錠すること。（使用后、硬貨は返却される。）紛失などの責任は一切負わない。
- (6) プール用車いすを使用したい場合、体育館内の選手受付に申し出ること。使用後は元のところに返却し、使用が終わった旨を受付に報告すること。
- (7) 写真撮影および動画撮影は原則禁止とする。但し、運営側が決めたエリア内のみ撮影可能とする。
- (8) 大会期間中における事故または傷病については、応急処置のみとする。その他の責任は負わないので、体調などは各自自己管理すること。なお、会場内で体調不良となった場合は、近くのスタッフに申告し、移動せずその場で指示を待つこと。
- (9) 主催者が許可した報道機関等の撮影及び録音、ならびに放映及び放送についてご協力をお願いします。また、冊子やセンターHP等への写真等の掲載について協力をお願いします。